



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ダイオーズ

コード番号 4653 URL <http://www.daiohs.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ホームページ等)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,166	9.6	737	2.2	783	4.6	466	9.2
26年3月期第2四半期	9,278	22.0	721	16.0	748	23.9	427	35.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 738百万円 (28.5%) 26年3月期第2四半期 574百万円 (265.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	34.75	-
26年3月期第2四半期	31.83	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	13,086	9,759	74.6	726.21
26年3月期	11,674	9,271	79.4	690.87

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,759百万円 26年3月期 9,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 26年3月期期末配当金の内訳 特別配当 5円00銭

27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 特別配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,865	3.7	1,589	6.5	1,611	1.4	966	8.9	72.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	13,439,142株	26年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	ー株	26年3月期	19,154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	13,422,395株	26年3月期2Q	13,419,989株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

① 国内部門

当期は、B to Bに特化した総合サービスの確立に向けた、国内部門における「第二期中期計画」のスタートの年であり、戦略の中核を成す、「エリア担当制営業管理システム」、「拠点運営の合理化」、「既存顧客別管理システム」を着実に進捗させました。

その結果、当期における売上高、営業利益は、共に期初の計画を上回る結果となり、今後、着実に年間計画を達成させる為に、直近の課題である、コーヒー生豆相場の急激な高騰や円安傾向による原料、資材調達コストの上昇問題に対して、拠点の合理化を加速させ、価格の見直しを実施します。

当期における取扱商品の動向については、飲料関連においては発売時から現在に至るまで、多くのお客様からご支持をいただいている、ボトルウォーターやティーサーバーについても売上、契約件数が増加しました。加えて、コンビニ各社が販売するレギュラーコーヒーブームの追い風効果もあり、コーヒーサービスの売上、契約件数も堅調に増加しております。また、環境関連においても高品質な清掃をお届けするダイオースカバーオールにおいては4期連続の二桁成長を継続し、売上高構成比率の高いダストコントロールにおいても業界内での競争が激化する中で売上、契約件数、共に増加をしました。

これらの結果、当第2四半期における国内部門の売上高は46億74百万円(前年同四半期比5.6%増)と4期連続の増収となりました。営業利益についても、拠点運営の合理化の促進や売上増加の好影響による固定費比率のダウン等の効果により、4億67百万円(前年同四半期比0.3%増)と3期連続の増益となりました。経常利益についても同様に4億30百万円(前年同四半期比3.9%増)と3期連続の増益となり、当第2四半期における、売上高、営業利益、経常利益は全て過去最高の実績となりました。

② 米国部門

米国のマクロ景気は金融緩和による影響もあって堅実な状況が続いており、全米平均失業率も2014年(平成26年)9月末時点で5.9%と前年同期(7.2%)と比べて1.3%と大きく改善しております。

6月には当社初めての米国南東部拠点となるジョージア州ノークロス市にてコーヒーサービス事業の譲受によりアトランタ支店を開設、9月には事業譲受によりフロリダ州マイアミ近郊にフォートローダーデール支店を開設いたしました。

また、5月にはカリフォルニア州モデスト市場で、6月にはネバダ州リノ市場の既存拠点で中規模のM&Aを実施しました。その他の既存拠点も堅調に売上が推移した結果、売上高は55億67百万円(前年同四半期比13.0%増、ドルベースでは7.0%増)となりました。

一方で、利益面では新規拠点の開設による初期投資や「のれん」及び「顧客関連資産」の償却費用増加の影響などにより、営業利益は3億41百万円(前年同四半期比5.2%増、ドルベースでは0.4%減)、経常利益は3億52百万円(前年同四半期比5.4%増、ドルベースでは0.2%減)と円ベースでは増益となりましたが、ドルベースでは僅かながら減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億66百万円(前年同期比9.6%増)、売上総利益は58億78百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は7億37百万円(前年同期比2.2%増)、経常利益は7億83百万円(前年同期比4.6%増)、四半期純利益は4億66百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は130億86百万円で、前連結会計年度末比14億12百万円増加となりました。

流動資産は62億43百万円で前連結会計年度末比1億25百万円増加となりました。これは主に「現金及び預金」が1億20百万円減少した一方で、「売掛金」が1億35百万円、「商品及び製品」が1億14百万円増加したことによるものです。固定資産は68億43百万円で前連結会計年度末比12億86百万円増加となりました。これは主に「顧客関連資産」が6億18百万円、「レンタル資産」が2億43百万円、「工具、器具及び備品」が2億29百万円増加したことによるものです。

負債合計は33億26百万円で、前連結会計年度末比9億24百万円増加となりました。これは主に「短期借入金」が6億8百万円、「買掛金」が92百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、97億59百万円で、前連結会計年度末比4億88百万円増加となりました。これは主に「利益剰余金」が1億98百万円、「為替換算調整勘定」が2億74百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(耐用年数の変更)

当社の連結子会社である株式会社ダイオースサービスが保有するレンタル資産のうちサーバーについては、従来、耐用年数を3年として減価償却を行ってまいりましたが、当該機器の使用実績データが蓄積されたことを契機に使用実態を調査した結果、第1四半期連結会計期間より使用実態に基づき耐用年数を5年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が26,589千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,703,099	2,582,397
売掛金	1,902,862	2,038,630
リース投資資産	242,667	272,408
商品及び製品	797,408	912,035
仕掛品	3,859	5,294
原材料及び貯蔵品	106,079	92,276
繰延税金資産	150,458	147,583
その他	240,032	218,673
貸倒引当金	△28,724	△26,192
流動資産合計	6,117,743	6,243,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	594,753	575,188
機械装置及び運搬具(純額)	342,721	370,397
工具、器具及び備品(純額)	1,228,341	1,457,914
レンタル資産(純額)	560,527	804,005
土地	680,088	684,659
建設仮勘定	19,138	11,740
有形固定資産合計	3,425,570	3,903,906
無形固定資産		
のれん	362,577	315,213
顧客関連資産	1,135,586	1,754,085
その他	81,763	65,222
無形固定資産合計	1,579,927	2,134,522
投資その他の資産		
投資有価証券	226,532	210,361
繰延税金資産	142,149	206,310
その他	201,798	407,705
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	551,088	804,985
固定資産合計	5,556,585	6,843,413
資産合計	11,674,329	13,086,520

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	420,003	512,527
短期借入金	790,330	1,399,225
未払法人税等	130,255	139,170
未払費用	335,922	319,338
賞与引当金	181,124	148,849
その他	393,009	531,988
流動負債合計	2,250,644	3,051,099
固定負債		
繰延税金負債	51,365	52,825
資産除去債務	34,246	35,149
その他	66,613	187,848
固定負債合計	152,225	275,824
負債合計	2,402,870	3,326,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,129,434
利益剰余金	7,136,670	7,334,689
自己株式	△7,939	—
株主資本合計	9,299,350	9,515,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,274	7,461
為替換算調整勘定	△37,166	236,876
その他の包括利益累計額合計	△27,891	244,337
純資産合計	9,271,458	9,759,597
負債純資産合計	11,674,329	13,086,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,278,893	10,166,283
売上原価	3,936,768	4,287,882
売上総利益	5,342,125	5,878,401
販売費及び一般管理費	4,620,154	5,140,620
営業利益	721,971	737,780
営業外収益		
受取利息	299	244
受取配当金	719	840
仕入割引	10,050	11,401
為替差益	14,827	36,103
その他	7,011	10,425
営業外収益合計	32,909	59,016
営業外費用		
支払利息	2,560	5,830
持分法による投資損失	3,297	7,465
その他	147	69
営業外費用合計	6,005	13,365
経常利益	748,875	783,431
特別利益		
固定資産売却益	7,760	2,614
事業分離における移転利益	2,505	—
特別利益合計	10,266	2,614
特別損失		
固定資産売却損	547	16
固定資産除却損	495	9,378
投資有価証券評価損	330	—
特別損失合計	1,372	9,394
税金等調整前四半期純利益	757,768	776,650
法人税、住民税及び事業税	271,732	353,481
法人税等調整額	58,847	△43,250
法人税等合計	330,580	310,231
少数株主損益調整前四半期純利益	427,188	466,419
四半期純利益	427,188	466,419

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	427,188	466,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,816	△1,813
為替換算調整勘定	139,994	278,548
持分法適用会社に対する持分相当額	2,650	△4,506
その他の包括利益合計	147,461	272,229
四半期包括利益	574,650	738,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574,650	738,648
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	757,768	776,650
減価償却費	463,445	559,778
のれん償却額	70,453	64,093
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,411	△2,891
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,990	△32,274
受取利息及び受取配当金	△1,019	△2,304
支払利息	2,560	5,830
為替差損益(△は益)	△14,795	△36,115
持分法による投資損益(△は益)	3,297	7,465
固定資産売却損益(△は益)	△7,213	△2,597
固定資産除却損	495	9,378
投資有価証券評価損益(△は益)	330	—
売上債権の増減額(△は増加)	△63,036	△44,575
たな卸資産の増減額(△は増加)	△35,491	△47,553
リース投資資産の増減額(△は増加)	△17,381	△29,741
仕入債務の増減額(△は減少)	18,560	79,633
未払費用の増減額(△は減少)	11,603	△12,740
その他	△41,793	△111,098
小計	1,123,383	1,180,937
利息及び配当金の受取額	1,019	2,304
利息の支払額	△2,712	△6,068
法人税等の支払額	△345,337	△299,830
法人税等の還付額	55,656	926
営業活動によるキャッシュ・フロー	832,009	878,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△487,369	△652,140
有形固定資産の売却による収入	13,129	2,441
無形固定資産の取得による支出	△2,458	△1,048
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
事業譲受による支出	△655,179	△866,702
事業譲渡による収入	33,873	188,731
その他	△14,613	△2,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,112,678	△1,331,761
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	293,970	543,427
自己株式の取得による支出	△1	—
自己株式の処分による収入	—	17,889
配当金の支払額	△226,889	△267,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,078	293,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,453	38,972
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△199,136	△120,701
現金及び現金同等物の期首残高	2,495,196	2,703,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,296,060	2,582,397

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,352,527	4,926,365	9,278,893	—	9,278,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,953	—	72,953	△72,953	—
計	4,425,481	4,926,365	9,351,846	△72,953	9,278,893
セグメント利益	466,244	324,557	790,801	△68,830	721,971

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,598,487	5,567,796	10,166,283	—	10,166,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76,144	—	76,144	△76,144	—
計	4,674,631	5,567,796	10,242,428	△76,144	10,166,283
セグメント利益	467,844	341,374	809,218	△71,438	737,780

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。